

**【授業目的】** 教育の理念の成り立ちを近代思想史の文脈において把握することをテーマとする。そのような歴史的知見を単なる知識にとどめず、現在の教育言説や制度改革にまで連なる一つの思想の流れの中で解釈できるところまで、思想的な訓練を深めたい。また小発表を通して、文献や資料に沿って、自らの解釈を提示するというスキルを磨いていくことも到達目標としたい。

**【授業概要】** 教育の理念および思想史を、現在の私たちの教育問題と接続して考えていく。そのために、近代的な学問・科学の成立といった事象を、今日的な教育制度の成立と関連させて把握する。授業は、主に講義・テキスト読解・映像分析をメインとするが、受講者の小発表を織り交ぜることで、活発に自由な議論が展開できるように工夫する。

**【キーワード】** [キーワード]

**【先行科目】** [先行科目]

**【関連科目】** [関連科目]

**【到達目標】** [目標]

**【授業計画】**

1. 導入 授業の概略と進め方について
2. 現在の教育言説
3. 子供の成長 誕生から幼児期まで
4. 子供の成長 少年期から思春期まで
5. 子供の成長 青年期から
6. 生涯教育の思想
7. 母と子の教育学
8. 教育を形作った思想 ルソーとペスタロッチ
9. 教育を形作った思想 カント
10. 学問としての近代教育 ヘルバルト
11. 教育を形作った思想 フーコー
12. 教育の理念における経験の思想 森有正
13. 教育の理念における身体思想 古典・芸道の理念
14. レポートの構成・書き方
15. まとめ
16. 総括授業

**【成績評価】** 授業への積極的な参加 (20%), 小発表 (30%), 学期末のレポート (50%)

**【再試験】** なし

**【教科書】** プリントを適宜用意する

**【参考書】** 弘田陽介『近代の擬態/擬態の近代』(東京大学出版会・2007)

**【授業コンテンツ】** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219254>

**【連絡先】**

⇒ byu00616@nifty.com

**Target** 教育の理念の成り立ちを近代思想史の文脈において把握することをテーマとする。そのような歴史的知見を単なる知識にとどめず、現在の教育言説や制度改革にまで連なる一つの思想の流れの中で解釈できるところまで、思想的な訓練を深めたい。また小発表を通して、文献や資料に沿って、自らの解釈を提示するというスキルを磨いていくことも到達目標としたい。

**Outline** 教育の理念および思想史を、現在の私たちの教育問題と接続して考えていく。そのために、近代的な学問・科学の成立といった事象を、今日的な教育制度の成立と関連させて把握する。授業は、主に講義・テキスト読解・映像分析をメインとするが、受講者の小発表を織り交ぜることで、活発に自由な議論が展開できるように工夫する。

**Keyword** [キーワード]

**Fundamental Lecture** [先行科目]

**Relational Lecture** [関連科目]

**Goal** [目標]

**Schedule**

1. 導入 授業の概略と進め方について
2. 現在の教育言説
3. 子供の成長 誕生から幼児期まで
4. 子供の成長 少年期から思春期まで
5. 子供の成長 青年期から
6. 生涯教育の思想
7. 母と子の教育学
8. 教育を形作った思想 ルソーとペスタロッチ
9. 教育を形作った思想 カント
10. 学問としての近代教育 ヘルバルト
11. 教育を形作った思想 フーコー
12. 教育の理念における経験の思想 森有正
13. 教育の理念における身体思想 古典・芸道の理念
14. レポートの構成・書き方
15. まとめ
16. 総括授業

**Evaluation Criteria** 授業への積極的な参加 (20%)、小発表 (30%)、学期末のレポート (50%)

**Re-evaluation** なし

**Textbook** プリントを適宜用意する

**Reference** 弘田陽介『近代の擬態/擬態の近代』(東京大学出版会・2007)

**Contents** <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219254>

**Contact**

⇒ byu00616@nifty.com